

シンポジウム

野外体験の形成力ーホンモノをむき出しにする自然と向き合うー

Formative effect of outdoor experience

遠藤 大哉

Hiroya Endo

私の話は野外体験の形成力についてである。

今日のテーマ

1. 「生きる力」を育む教育実践のねらい

キーワード

- ①楽しむ
- ②冒険
- ③インスピレーション

2. 具体的な教育手段（指導方法）

3. 成果

1. 「生きる力」を育む教育実践のねらい

これは、私が活動している自然体験活動のねらいである。

- ①楽しむ

身体が喜ぶ気持ちよさ！



2013年3月,長者ヶ崎神社(葉山)

図1

図1は私が近所の神社の石垣にへばりついているだけだが、最近非常に気に入っている。こういうポーズをとるだけで体が喜んでくれるというか、それくらい気持ちいい。最近ある知人に教わってやってみたら、ほんとに気持ちよかった。こんなにシンプルなのかと思うぐらいで、これがもしかしたら体育・スポーツの原点ではないかと感じた。

内発的に動機づけられた自己の没入感の伴う楽しい経験＝「フロー体験」



2012年12月,幕岩(湯河原)

図2

心理学者のチクセントミハイは、「内発的に動機づけられた自己の没入感の伴う楽しい経験」つまり、楽しんで没頭している状態のことをフロー体験といている。私はこのフロー体験に注目しているが、その理由は、それが人間発達のモデルとして利用できるのではないかと考えたからである。